

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	21138	
事業名	地区図書館運営管理費						
評価担当課	所属名	教)中央図書館 運営企画課					
	課長名	中澤 優	担当者名	平 麻美	電話番号	011-512-7330	
施策名	主	-					
	副						
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外			
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費						
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理						
事業内容	実施形態	● 直営 ○ 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他					
	目的	短期	市民の読書活動や学習活動に寄与する。				
		長期	市民の読書活動や学習活動に寄与する。				
	取組内容	市内各区に設置している、新琴似図書館(北区)、元町図書館(東区)、東札幌図書館(白石区)、厚別図書館(厚別区)、西岡図書館(豊平区)、清田図書館(清田区)、澄川図書館(南区)、山の手図書館(西区)、曙図書館(手稲区)における図書館事業の運営及び各施設管理を行う。					
	実施結果	図書資料の貸出・予約受付・返却等の図書館運営の基本業務や図書資料の充実のほか、資料レファレンス対応やインターネットによる蔵書検索及び貸出予約の運用を行った。					
事業実施における工夫点	恥部施設を除く各図書館施設をオンラインで結び、所蔵する資料の市内全域に渡るサービス網を確保している。						
対象者	市民、市内に通勤・通学している他市町村民			開始	0 年度	終了	0 年度
関連法令・条例・要綱等	図書館法・札幌市図書館条例・札幌市図書館条例施行規則						
他都市の状況	他都市においても同様の事業を実施している。						

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	270,909	276,000	272,396	278,000	
うち特定財源	1,464	1,293	774	1,287	
人工	55.0	55.0	55.0	56.0	
人件費	396,000	396,000	396,000	403,200	
計(事業費+人件費)	666,909	672,000	668,396	681,200	
事業費の内訳	令和3年度決算	<ul style="list-style-type: none"> 地区図書館運営に係る委託業務 78,296千円 会計年度任用職員に係る費用 123,082千円 地区図書館運営に係る光熱水費 13,582千円 その他地区図書館運営に係る費用 57,436千円 			
	令和4年度予算	<ul style="list-style-type: none"> 地区図書館運営に係る委託業務 82,012千円 会計年度任用職員に係る費用 126,842千円 地区図書館運営に係る光熱水費 35,579千円 その他地区図書館運営に係る費用 33,567千円 			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	蔵書冊数(冊)		
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
	790,000	790000	765231	790000
活動指標2	指標名			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定
成果指標1	指標名	来館者数(人)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	1,250,000	1090000	786632	1048000
成果指標2	指標名	貸出冊数(冊)		
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標
	2,100,000	1830000	1593127	1600000
項目	判定	理由		
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	B	平成30年度から来館者数、貸出冊数に関しては減少傾向にあり、令和3年度については令和2年度同様、新型コロナウイルス感染症の影響による臨時休館の影響もあり、さらに減少となった。実開館月にかかる1か月平均数も来館者数、貸出冊数ともに減少傾向にあり、市民の読書活動や学習活動に寄与しているとはいえるものの、成果を計る数値目標には届かなかった。		
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	他の政令市と比較すると、図書館全体の蔵書冊数は上位であるが、人口一人当たりの蔵書冊数では下位である。資料購入費は削減が続いており、政令市では最下位に近い。近年の地区図書館の蔵書の内訳では全体の約5.7%が新刊に置き換わっているが、購入した図書はわずか0.9%であり、市民の寄贈に多くを頼っている現状である。他方、当事業による運営施設を含めたサービス拠点の数は政令市の中でも多く、市内におけるサービス網確保については一定の成果が挙げられている。		
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	人件費、施設維持管理費、システム運用費、光熱水費等の固定費が年々上昇している中、予算の効率的な執行をすることで、図書資料の充実化に取り組んでいる。		
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	例年実施している利用者アンケート(令和3年10月実施)において、市内9つの地区図書館のサービス内容については、回答者の91.9%が満足していると回答しており、前年度実施時より増加している。※数値は9館の平均値		
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応 <input checked="" type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	「身近な学びの施設」「知の拠点」として、市民が生活や活動に役立つ情報を用意に的確に得ることができるよう、市民目線でのサービス充実が必要であり、また、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上での図書館運営について、物理的な制約はあるものの、それによるサービスの低下を最小限に抑え、引き続き「新生活様式」に則した運営を行う。さらに、減少傾向にある来館者数、貸出冊数を考慮し、限られた資源の中で魅力ある図書館としていく。			
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
今年度取り組んだ見直し内容	なし		見直し効果額 (前年度)	0 千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし			
評価の理由	利用者アンケートの満足度は他図書館施設より低いものの、多くの市民に利用されて、市民の読書活動や学習活動に寄与しており、満足度の上昇傾向がみられるため。			
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 地区図書館の事業運営及び施設維持管理、また、地域の生涯学習機能の強化を担う学びの拠点としての運営。		
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 市民の読書・生涯学習意欲に応えるためにも図書館サービスの量的・質的拡充を図るための図書購入予算の確保が重要である。		見直し効果額 0 千円